

令和2年度

事業報告書

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

社会福祉法人 甲西厚生会
軽費老人ホーム あやめの里

令和2年度 事業報告

1 基本方針について

ここで生活している人すべて(入所者や職員)が
家族のように過ごせるように
最大限の努力をしていきます。

社会福祉法人として、地域を元気にすることで
自分たちも地域に育てていただくことができる
互恵関係を築いていきます。

あやめの里では、昭和59年の開設以来36年、基本方針の下、できる限り入所者自らが身体的・精神的に自立できるような支援に心掛けてきた。

具体的には、外出する機会を可能な限り設けるとともに、クラブ活動等の活性化や充実にも力を注ぎ、入所者に対して、少しでも質の高い福祉サービスが提供できるよう、各種会議等を通じて、職員相互の意思統一を積極的に図ってきた。

また令和2年度は、入所者・家族等と職員全員が協力し合うなかで活気ある施設づくりを念頭に、積極的に各種行事に取り組んで行く予定でいたが、しかし、予期せぬ「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るって感染拡大してきたため、【入所者の命を第一】に考え、【安心】して生活できる環境を整えることを最優先に考えた。施設としてできる対応を速やかに職員で話し合い、一人一人が“STOP！感染拡大”を強く意識してきた。

また7月6日(月)の防災点検の業者操作ミスによる「スプリンクラーによる消火設備誤作動事故」も重なり、令和2年度は、施設での行事を中止する措置や縮小しての実施、また形を変えて変更するなどの対応を取り、外部からの感染症の持ち込みを防ぐためにも外出・面会の禁止という強い措置を取った。

そして、“てんとう虫グループの交流”である、子ども達との楽しいふれあいも今年には出来ない状況になってしまった。

2 施設運営方針について

(1) 施設入所者への支援

コロナ禍で、精神的・身体的苦痛が限界に達している方が多く、入所者から日頃の健康状態及び精神衛生面等についての相談が多かった。生活相談員・看護職員(看護師)及び介護職員等を中心に相談を受け、話し相手になる中で、心身ともに落ち着いた生活ができるよう、様々な相談に応じ、各種支援を行った。中でも、難解な相談については、随時ケース会議等を開催して支援方法等を検討し、職員全員で検討結果を共有して支援を行った。

また特に、入所者の心理面や情緒面への配慮を併せて行うとともに、信頼関係を構築する中で、各種対応を図った。

さらに、現在も入所希望者は多く、ほぼ毎日問い合わせがあるが、その中最近目立つのは、家族と同居しているが、お互い折り合いがつかず、別生活をしたいので入所したい人、県営・市営住宅で一人暮らしをしているが、先行が不安な人、精神疾患のある人、退院日が決まっているが、そのまま自宅へ戻るのは心配な人、離婚して別生活をしたい人など70～80歳代前半の人の問合せが目立った。

そして、照会があっても、満室のため、入所できない人や、体験入所の後、判定会議で受け入れ不可能となるケースもある。

さらに、待機者の中にも、順番がきたので案内をすると、「3階に入所したい・・・」など階を希望する方がいて、希望する階があくまで待機するケースなどもあった。

こうしたことから、入所できるタイミングが合わなかったり、また、すべての人が軽費老人ホームに合った状態の希望者ではないため、問い合わせが多くても実際に入所できる人の確保は、年々難しい傾向にある。

(2) 日常生活について

各入所者の尊厳を尊重し、施設であっても生活の場としての快適な居住性を重視しながら、可能な限り身の回りのことを入所者自身ができるように支援を行った。

そしてコロナ禍でも、入所者に「安心」して「生き生き」と「明るく」生活できるよう、その心身の状況や希望に応じたサービスを提供するとともに、「生きがい」をもって生活するための機会を適切に提供してきた。

しかし、入所者の高齢化の進展に伴い、軽費老人ホームといえども、多少の介護または介助の必要な入所者が現実的に多くなってきている。このような中で、入所者がスムーズに次のステップである介護保険施設などに入所できるまでの間、限られた施設的环境及び体制の中ではあるが、入所者に最後まで満足してもらえる支援を心掛けた。

食事は、密を避けるため、50名の入所者が一度に食べていた食事を20名ずつに

分け、各班ごとに大ホール(食堂)へ呼ぶようにした。また、2人掛けの机には、パーテーションを置くなどして感染予防を行った。

3 健康管理について

入所者の健康管理に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施しながら、看護職員を中心に、生活相談員・介護職員等により、日常生活の観察、月2回の健診、内服の管理(処方受けを含む)健康相談・受診への支援、介護認定の申請援助などを行った。また、病気のある入所者で食事制限がある入所者の食生活については、栄養士を中心に調理職員と協力して、適切な栄養管理などに努めた。

さらに、春と秋の年2回、入所者全員を対象に「甲府市医師会健診検査センター」による「総合健診(人間ドック)」を実施した。

そして、週2回、嘱託医「保坂メディカルクリニック」と「井出整形外科医院」への通院・送迎も行った。

入所者の健康維持に関しては、職員全員が、平素から、早期発見・早期治療を念頭に、入所者の疾病予防や機能の回復に努めるとともに、高齢化による機能の低下を防ぐための支援にも力を注いだ。

また今年度特に、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に伴う制限が、ADL全般の低下やストレス増大からくる精神不安定な状態に陥らないよう、十分に注意してきた。

4 機能訓練と余暇活動について

今までは、加齢とともに、無気力に陥りやすい入所者の生活に、潤いと活力を与えるため年間を通して、介護予防の見地から、様々な活動を試み実施してきた。

しかし、コロナ禍で活動は制限されてしまい、機能訓練や余暇活動は、例年よりだいぶ少なくなってしまった。

そこで、施設内でできるクラブ活動を主に増やし、施設外での活動はコロナ対策を徹底し、少人数で何回かに分けて実施する考えへと変更して対応してきた。

具体的には、毎朝、前庭で、入所者全員で「甲州弁ラジオ体操」を行うとともに、午後3時から、「リハビリ体操&歩行訓練(散歩)」を実施した。

7月からは、毎月2回、機能訓練と入所者同士のコミュニケーションを図ることを目的として「リハビリレクリエーションクラブ」を実施し、毎回多くの参加者が集まり、楽しみながらリハビリレクリエーションを行った。

認知症予防として、毎月「脳トレーニングクラブ」を実施。レベルに合わせて2タイプの問題を用意し、1時間集中して問題を解いてもらった。解き終わった方から提出してもらい、職員がマンツーマンで採点してアドバイスをを行った。楽しみながら認知症予防していくことを意識した問題を用意したため、毎回予想以上の方が参加してくださり、少しずつ効果が出るようになってきた。

「カラオケクラブ」は、月2～3回に増やし、大型スクリーンに映し出される映像を見ながら、気持ちよく自慢の喉を披露。参加者も増え、コロナ禍でのストレス解消に、大きな成果が出ていた。

「輪投げクラブ」も月2回に増やし、天気の良いときには、前庭で実施した。2チームに分けて対抗戦を行い、いつもとても盛り上がっていた。コロナ禍で、入所者同士でのコミュニケーションを制限している中、このクラブでは、チームのメンバーがみんな協力しあい勝負するため、必然とコミュニケーションが要求されるので、交流を深める良い機会となっていた。

施設外での活動としては、「散策クラブ」を実施。コロナ禍のため、1月の山縣神社への「初詣」と、3月の不老園への「梅見」の2回のみコロナ対策を徹底して、人数制限や回数を分けて実施した。

「買い物」に関しては、不要不急の外出を控え、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、前年度の3月から外出禁止していたが、隣のセブンイレブンのみ可能とし、午前9時半～11時・午後3時～4時30分の間限定。「外出届」を提出し、職員が許可した場合のみ可能とした。

それ以外の外出に関しては、外出予定の約1週間前に「外出願(特例)許可書」を提出してもらい、職員が慎重に判断。5人の職員の許可がないと外出できない制限を設けた。

しかし、現状コロナ終息が見えない長期化していく状態になっていった。これでは入所者にストレスが溜まってしまい、病気などを発症してしまう可能性も考えられたため、「買い物デー週間」を設けた。希望者を募り、3～4人を1組として職員が付き添い、何回かに分けて実施した。

最小限の時間として30～40分での買い物だが、少しはストレス解消にはなったようだ。

「温泉クラブ」・「釣りクラブ」は中止。

そして、施設の建物奥にある、広大な畑を利用して、例年同様入所者と職員が共同で、「農作業」を実施。「農作業」に従事してきた入所者に教えをいただく中、ジャガイモ・サツマイモ・玉ねぎ・なす・きゅうり・トマト・大根・にんにく・かぼちゃ・さやいんげん・冬瓜などを栽培し、野菜を収穫するまでの苦労や尊さを共有した。

採れたての新鮮野菜は、すぐに食材として食事で提供し、収穫の喜びをみんなで味わうことができた。

また、「健康」で「元気」な身体作りをするためにも、この「農作業」は大きな効果を表していたと思われる。

5 地域交流について

今年度は「新型コロナウイルス感染症防止策」のため残念ながら、全部【中止】となってしまった。

地域交流に当たっては、今まで地元の榎東自治会の賛助会員として、運動会などの行事へ参加したり、毎年参加している「ねんりんピック」では、入所者の作った手芸品などを小瀬スポーツ公園内テントブースで販売。甲斐市代表として「輪投げ2チーム」「クイズウォーキング1チーム」も参加。

また地域の高校生のインターンシップや、小中学生の職場体験や慰問等を積極的に受け入れ、学生との交流を図ってきたが、しかし、今年度は「新型コロナウイルス感染症防止策」のため全部【中止】となった。

唯一、感染症防止対策をしながら、10月からは、毎月1回「散歩の日」を設け、施設周辺を入所者と職員と一緒に散歩しながら実施。コロナ禍でなければ、いつも地域のゴミ拾いをするボランティア活動も同時に行ってきた。このような地域に根差した活動は今後も積極的に行っていきたい。

6 てんとう虫グループでの交流について

今年度は「新型コロナウイルス感染症防止策」のため残念ながら、全部【中止】となってしまった。

例年同じ法人である「和成保育園」と、認定こども園「貢川幼稚園」との交流を、5月「創立記念日」・8月「納涼会」では、和成保育園の先生方に屋台のお手伝いや毎年好評の「和太鼓演奏」披露。10月「秋まつり」。12月「和成保育園クリスマス会」入所者招待。また、年始めの「餅つき」には、少人数の入所者がお手伝い。

1月「書初め」は、年長組園児と一緒に課題の文字を書き、「山日YBS席書き大会」へも参加。そして「どんど焼き」。2月には、希望者を募り、和成保育園年長組保育室へ行き、入所者がモデルとなり園児に「似顔絵」を描いてもらう。そして、てんとう虫グループ最後の交流行事「ふれあいの会」。

このようにコロナ禍でなければ、卒園まで何回か入所者との交流活動をしていた。本来ならば、この経験は園児たちにとって良い経験・思い出になっていたであろうに・・・。

7 職員の職務に対する姿勢と入所者への生活支援について

入所者への生活支援については、コロナ禍でも、入所者主体の質の高い福祉サービスが提供できるよう、職員一丸となって支援に努めた。特に、個別による支援を基本として、あくまでも入所者の立場に立った支援目標を設定し、その支援目標に沿った支援を行った。

さらに、感染症防止策を施しながら、心身の健康を維持できるように、一人でも多くの入所者が各種行事やグループ活動等に参加できるよう積極的に促しながら、活動を通して充実した快適な生活ができるように心掛けた。

コロナ禍で、施設敷地内に制限した生活を強いられている中、10月からは、「買い物デー週間」や「銀行に行ける日」を設け、時間や人数制限しながら、施設外へ出てストレス解消や気分転換を図れる機会をつくった。

8 職員の資質向上について

軽費老人ホームにおいては、職員の資格要件は、介護保険施設等のような資格は必要でないため、職員の中には、専門の養成機関等で知識・技術の習得をしていない者もいる。

そのため、自己研鑽を促し、山梨県老人福祉施設協議会や山梨県社会福祉協議会などが主催する研修会にも積極的に参加させるなど、職員の質の向上に今までは努めてきた。

しかしコロナ禍で、外部の研修会は、ほとんど開催されなかった。そこで、感染症拡大防止策をとりながら、限られた時間で、施設内研修を実施。新型コロナウイルス感染症についてや老人福祉に関する社会情勢等の知識・技術の習得を図るために、実施した。

9 友愛会(入所者の自治会)について

友愛会の活動としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施しながら、実施した。友愛会役員による「代表者委員会」(毎月1回開催)において、議題について話し合い、「全体集会」(毎月1回開催)では、全員集まったの開催は、難しいため各階(3回)に分かれて協議を行った。その際、入所者全員に毎回わかりやすい情報を資料として提供した。その他の活動については、自粛された。

今後も、友愛会が充実した自治会となるよう、継続して支援を行う。事務局として、職員も加わっている。

10 家族関係について

コロナ禍、家族と離れて入所している入所者については、極力、家庭との関係を保つよう、施設内での生活状況について、必要に応じて医療や介護・生活状況等の情報を家族に提供して、家族との緊密な連絡・連携に心掛けた。

また、機関誌「あやめ通信」を4ヶ月に1回発行し、家族や保証人を始め各関係機関に配付するとともに、あやめの里のホームページのブログを常時更新し、施設での入所者の様子が、家族等にタイムリーに伝えられるよう努めた。

残念ながら、施設内へ入っての面会は、【中止】させていただいたが、施設外(前庭・玄関前・離れなど)やリモートでの面会などを活用して、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施しながら可能とした。

11 その他

「スプリンクラーによる消火設備誤作動事故」について

7月6日(月)防災点検の業者操作ミスにより、スプリンクラー内の液体が約60ℓ放水。多くの入所者が水害に遭われた。3階は問題なく、1階も8居室が少し被害にあった程度であったが、特に2階はほぼ全滅。被害は多大で、当日から2階入所者は居室での生活が困難となったため、湯村の楽水園ホテルにての不自由な慣れない生活を1週間～2週間程していただいた。

放水直後は、2階入所者1名が液体に滑って転倒し、左足首外側突起剥離骨折。また対応中に施設長が転倒し、右大腿骨頸部骨折で入院となり、12月まで職場復帰できなかった。

居室の復旧改修工事が急ピッチで進められ、クリーニング・畳、襖、障子、押し入れ張替え・破損物交換などの工事(応急処置)を実施した。中でも大事な思い出の品々などが水没して廃棄せざるを得ない状況になってしまったことは、大きな損害であった。

工事後の調査でスプリンクラーから出た液体が木材部分へ染み込み、押し入れや襖・障子などを浸食しているのが発見される。壁や廊下には変色が顕著に表れた。このままにしておくと、カビ発生や腐敗等が考えられ、健康状態や生活に支障がでてくる可能性が高いとの判断し、再度10月から、大規模改修工事を実施せざる負えない状況となった。6名ずつを3回に分け全工程約2ヶ月間、第2期工事を実施。工事をしている際入所者には、前庭に仮設住宅のようなコンテナハウス(4基)設置し、4名の方と東館(離れ)の中を2部屋に分け、2名入り、合計6名に分かれて、2週間程生活していただいた。結局復旧までに、5ヶ月。11月下旬までの長い期間を要した不運な水害事故であった。改修工事は終了しても、大きな傷として入所者や家族・職員・関係者には未だに消えてはいない……。

◎入所者状況（出身地）

令和3年3月31日現在

県内・ 県外	出身地	男	女
県内	甲斐市	1	3
	甲府市	3	9
	南アルプス市	3	3
	笛吹市	1	1
	北杜市	3	2
	韮崎市	1	2
	甲州市	0	1
	上野原市	1	0
県外	北海道	1	0
	東京都	3	3
	神奈川県	0	1
	群馬県	0	1
	愛知県	0	1
	新潟県	1	1
	長野県	0	1
	京都府	1	0
	熊本県	0	1
	外国（満州）	0	1
合 計		19	31

合計 50名

●防災及び安全対策(令和2年度実施状況)

実施日	総合訓練	避難訓練	救助訓練	通報訓練	消火訓練	教育	防火・予防 ・自主点検
4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため『中止』						1回
5月							1回
6月		1回 (火災)					1回
7月		1回 (地震)					1回
8月		1回 (夜間火災)				1回 (職員連絡網訓練)	1回
9月		1回 (地震警戒宣言)					1回
10月		1回 (水害)					1回
11月		1回 (地震)					1回
12月		1回 (火災)					1回
1月		1回 (地震警戒宣言)					1回
2月		1回 (火災)					1回
3月		1回 (地震)					1回
合計	新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため『中止』	10回	新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため『中止』			1回	12回

(※避難訓練後、
毎回講評を伝え、
教育に努めている)

〔評価・考察〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、制限し実施。そんな中でも出来る限り、実際の災害を想定して実施するように心掛けた。実際にいつ起こりうるか分からない災害状態を想定し、日付や時間を一切入所者へは伝えず、訓練してきた。

毎月の訓練をする中で、災害の恐ろしさを自覚するとともに、お互いに助け合う気持ちを養い促すようにしている。

◎面会状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
令和 2年度	対象者数	14	13	25	14	21	16	18	20	18	15	10	16	200
	面会者数	28	20	39	19	31	25	27	28	26	23	13	23	302

※入所者の外出を制限しているため、買い物や用事を保証人や家族に依頼することが多かった。そのため、毎月の面会は例年より3割ほど少なかったが、予想以上に多かった。その際、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、検温・消毒・マスクの徹底をして、面会を実施。前庭・玄関前ベンチや東館にて三密を避け短時間で行ってもらった。また、iPadを使用してのリモート面会の設置も行った。

区分	面会人数	人数	%
	1人もなし	13	26%
	1人～5人	20	40%
	6人～10人	4	8%
	11人～15人	5	10%
	16人～20人	3	6%
	21人以上	5	10%
	合計	50	100%

◎外泊状況

(1) 外泊回数

泊日数		1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	10泊以上	年間合計
令和 2年度	男(回)	新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため「禁止」とする。											
	女(回)												
	合計												

(2) 外泊人数

月別 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 外泊日数
令和 2年度	人数(人)	新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため「禁止」とする。												
	泊数(日)													
	累計(人)													
	累計(泊)													

* 外泊実施者 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため「禁止」としたため、「0」

●クラブ活動実施状況●

令和2年度

クラブ名	参加人数(平均)			実施状況	指導者
	男	女	計		
書道	1	8	9	年 11 回	職員
カラオケ	4	10	14	年 25 回 (毎月2~3回)	職員
リハビリレクリエーション	5	8	13	年 20 回 (毎月2回:各階対応)	職員
散策クラブ	4	5	9	年 2 回	職員
大正琴クラブ	0	6	6	年 12 回	職員
温泉クラブ	/	/	/	休 止	職員
趣味クラブ	3	11	14	年 9 回	職員
脳トレクラブ	10	18	28	年 12 回 (毎月1回)	職員
輪投げクラブ	6	7	13	年 18 回 (毎月1~2回)	職員
釣りクラブ	/	/	/	休 止	職員

◆令和2年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止策」をとりながら、制限し実施。

◆生活に密着し「生き甲斐」として楽しんでもらうように、計画。

◆機能回復へのリハビリテーションとしての役割も担っている。

◆各クラブ、目的をもち、個人に潜在する「能力」・「技術」を引き出しながら「満足感」「達成感」を意識して活動してきた。

令和2年度 医務室報告

医療について

高齢者特有な高血圧症、心疾患、腰痛、膝関節症、うつ病、骨粗鬆症などの疾患の入所者が多い。糖尿病や腎臓病などの疾患も出現し、食生活管理を必要とするために、栄養士とともに課題分析と栄養バランスなどを考えるようにしている。また、健康診断において指示を受けたケースについては、通院等の適切な措置を執り、他の部門との情報交換に努め、総合的に健康面への対応を行った。

疾病別入院者数 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	男	女	計	備 考
内 科	2	1	3	
整 形 外 科	0	1	1	
外 科	1	0	1	
泌 尿 器 科	2	0	2	
呼 吸 器 科	0	1	1	
計	5	3	8	

通院状況

1. 毎週火曜日 「保坂メディカルクリニック」通院送迎 (≒4～6名)
2. 毎週金曜日 「井出整形外科医院」通院送迎 (≒8～12名)
3. 治療が必要な場合のみ往診依頼 (随時) 「保坂歯科医院」 (≒1～6名)
4. その他
 - ・個人で通院をしている入所者も多数みられる。(バス・タクシー・家族・自家用車対応)
 - ・竜王リハビリテーション病院通院も多数見られ、必要に応じて付き添いの対応を行っている。
 - ・他の病院との連携を図り、情報交換を行っている。

健康管理

入所者には、看護職員、介護職員その他日常生活全般に関わる全ての職員の観察が大切であることから、互いに情報交換に努め、対応を行った。体重増加が見られるので、随時、体重測定を行い、その都度対応を行った。

令和2年度

月 日	種 別	対象 人数	内 容	
4月8日	月例健診	50	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	4/7 入所者・職員向け 「新型コロナウイルス感染症について」研修会
4月23日	月例健診 健康相談	48 47	体温・脈拍・血圧測定	●長谷川式簡易知能評価スケール(4/16) ■生活体力測定 ⇒新型コロナウイルス感染症のため【中止】
5月7日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
5月20日	月例健診 健康相談	48 45	体温・脈拍・血圧測定	
6月8日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
6月23日	入所者総合健診① 健康相談	47 46	身長・体重・血圧・検尿・心電図・胸部X-P	※甲府市医師会健診検査センター (あやめの里にて)
7月9日	月例健診 職員健診①	10	体温・脈拍・血圧測定・体重測定⇒7/6スプリンクラー誤作動事故のため【中止】 全職員対象	※甲府市医師会健診検査センターにて (7/1~7/10)
7月22日	月例健診 健康相談	47 47	体温・脈拍・血圧測定	
8月13日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	8/7 入所者向け
8月26日	月例健診 健康相談	47 46	体温・脈拍・血圧測定	「新型コロナウイルス感染症について」掲示
9月9日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	●嘱託医相談日①(42名)
9月23日	月例健診 健康相談	47 45	体温・脈拍・血圧測定	⇒書面にて
10月9日	月例健診	49	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	10/6 入所者・職員向け 「インフルエンザ 予防」研修会
10月21日	入所者総合健診②	47	心電図のみ	※甲府市医師会健診検査センター (あやめの里にて)
10月29日	インフルエンザ 予防接種 健康相談	入所者 46名 44	職員12名	
11月4日	月例健診	49	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
11月26日	月例健診 健康相談	49 48	体温・脈拍・血圧測定	●歯科健診 ⇒新型コロナウイルス感染症のため【中止】
12月9日	月例健診	50	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
12月23日	月例健診 健康相談	48 47	体温・脈拍・血圧測定	
1月6日	月例健診	47	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
1月20日	月例健診 健康相談	47 47	体温・脈拍・血圧測定	
2月3日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
2月24日	月例健診 健康相談 職員健診②	48 48 4	体温・脈拍・血圧測定 宿直者のみ対象 4名	※甲府市医師会健診検査センターにて (2/1~2/4)
3月10日	月例健診	48	体温・脈拍・血圧測定・体重測定	
3月24日	月例健診 健康相談	47 47	体温・脈拍・血圧測定	

※常時、小ホールホワイトボードへ「新型コロナウイルス感染症情報・対応策・注意点」などを掲示している。

入所者障害別数

令和2年度

障害別	男	女	計	備 考
歩行障害	4	10	24	杖使用・シルバーカー
聴力障害	1	9	10	難聴・日常生活上要注意 (身体障害1級1種：1名・聴覚障害4級：1名)
視力障害	2	1	3	視力の著しい低下
ペースメーカー	1	1	2	身体障害者手帳1級1種：2名
精神障害	0	2	2	保健福祉手帳（精神障害法律第45条：1名）
知的障害	2	1	3	療育B-1：3名
障害 (股関節・上下肢)	3	0	3	身体障害者手帳2級1種：3名
呼吸器	1	0	1	呼吸器機能障害3級1種：1名
合 計	14	24	48	

※ 1人の入所者が、複数の障害を罹患しているケースもある。

疾 病 の 状 況

令和2年度

		男		女		合計
診療科目	病 名	既往歴	現病歴	既往歴	現病歴	
内 科	高血圧症	0	10	0	22	32
	心疾患	0	1	2	4	7
	ペースメーカー留置（不整脈）	0	1	0	1	2
	喘息または気管支炎	0	0	0	2	2
	慢性閉塞性呼吸器疾患	0	2	0	0	2
	消化器疾患	1	3	4	0	8
	肝障害	0	5	2	1	8
	糖尿病	0	4	1	2	7
	リウマチ	1	0	0	1	2
	貧血	0	6	0	10	16
	肥満傾向	0	1	0	5	6
	シェーグレン症候群	0	1	0	1	2
脳神経科	脳梗塞	1	0	3	0	4
	認知症	0	1	0	3	4
整形外科	変形性膝関節症	0	1	7	1	9
	腰椎圧迫骨折	1	0	2	3	6
	頸椎症	0	2	1	0	3
泌尿器科	前立腺肥大症	0	3	0	0	3
	前立腺がん	0	5	0	0	5
	膀胱がん	0	1	0	0	1
精神科	精神疾患	1	1	2	4	8
眼 科	白内障	1	1	1	1	4
	緑内障	0	0	2	0	2
	糖尿病性網膜症	0	2	0	1	3
婦人科	婦人科疾患	0	0	1	1	2
合 計		6	51	28	63	148

令和2年度 給食年間実施表

月	行 事	実 施 献 立
4/9	ラーメンの日	ワンタン麺 には饅頭 ザーサイ 杏仁豆腐
4/21	お楽しみデー(サンドイッチ)	サンドイッチ(たまご・ハムチーズ・あんバター) メンチカツ コールスローサラダ みかん缶
5/12	創立記念日 4・5月誕生会	赤飯 天ぷら 若竹煮 茶碗蒸し 黒蜜ゼリー
5/22	ラーメンの日	味噌ラーメン 餃子 ザーサイ 杏仁豆腐
5/27	選択食(おかゆ)	①鮭粥 ②リゾット ③中華粥 きゅうりの和え物 玉子焼き オレンジ
6/5	ラーメンの日	塩ラーメン 肉まん きゅうりの中華和え 杏仁豆腐
6/11	喫茶の日	ホットコーヒー アイスクーヒー オレンジジュース クリームソーダ バニラアイス ところてん パンケーキ
6/25	お楽しみデー(串揚げ)	串揚げ(串カツ 玉ねぎ はんぺん アスパラ) わかめご飯 すまし汁 チンゲン菜のなめたけ和え オレンジ
7/8	ラーメンの日	冷し中華 には饅頭 もやしの酢の物 杏仁豆腐
7/21	6・7月誕生会	赤飯 握り寿司 天ぷら そばのめんつゆジュレがけ ミニトマトのはちみつレモン漬け 冷し茶碗蒸し すいか
7/28	選択食(どんぶり)	①うな丼 ②天井 ③牛丼 すまし汁 菜花のおろしポン酢和え プリン
8/5	ラーメンの日	ごま冷し中華 には饅頭 ザーサイ 杏仁豆腐
8/19	お楽しみデー(稲荷・細巻き)	稲荷寿司 細巻き ブロッコリーのツナマヨ和え すいか
8/27	納涼会メニュー	焼きそば たこ焼き じゃがバター ところてん すいか
9/9	ラーメンの日	冷し担々麺 には饅頭 ザーサイ 杏仁豆腐
9/16	敬老会	赤飯 鯛の塩焼き きのこと汁 冬瓜の炒め煮 きゅうりとたこの酢の物 かぼちゃプリン
9/23	お彼岸	おはぎ 筑前煮 すまし汁 ほうれん草の辛子和え オレンジ
9/29	選択食(パスタ)	①ミートソース ②明太子 ③きのこクリーム 野菜スープ グリーンサラダ ココアプリン

月	行 事	実 施 献 立
10/14	ラーメンの日	醤油ラーメン には饅頭 ザーサイ オレンジ
10/23	お楽しみデー(中華)	手作り餃子 チャーハン ザーサイ 中華スープ 杏仁豆腐
10/31	喫茶の日	ホットコーヒー アイスコーヒー カルピス クリームソーダ スイートポテト かぼちゃプリン クッキー
11/11	お楽しみデー(握り寿司)	握り寿司(まぐろ・えび・サーモン・ぶり)
11/24	ラーメンの日	きのこの味噌汁 小松菜の和え物 オレンジ 塩ラーメン には饅頭 ザーサイ 杏仁豆腐
12/10	選択食(フライ)	①エビフライ ②ヒレカツ ③カキフライ マカロニサラダ 野菜スープ バナナ
12/16	餅つき	つけこ 豆餅
12/18	ラーメンの日	味噌ラーメン 餃子 ザーサイ 杏仁豆腐
12/22	クリスマス会	サンタパン フライドチキン マッシュツリー サーモンのマリネ えびクリームパスタ ロールケーキ
1/1.2	お正月	お雑煮 お節 お茶会:甘酒・ゆず茶・みかん
1/7	七草	七草粥
1/15	どんど焼き	お団子
1/19	新年会 1月誕生会	赤飯 煮物 天ぷら 茶碗蒸し おしるこ
1/21	ラーメンの日	醤油ラーメン 肉まん ザーサイ 杏仁豆腐
1/26	お楽しみデー(海鮮丼)	海鮮丼 味噌汁 漬物 みかん
2/2	節分	恵方巻き 丸干し鰯 すまし汁 菜花の辛子和え 切山椒 節分豆
2/12	バレンタインメニュー	ロールパン チーズのせハンバーグ リボンマカロニサラダ フライドポテト 人参グラッセ パイン缶 男性のみマフィン
2/16	選択食(焼きそば)	①ソース焼きそば ②塩焼きそば ③あんかけ焼きそば 肉まん ザーサイ みかん
2/24	ラーメンの日	長崎ちゃんぽん には饅頭 漬物 ココアプリン
2/25	喫茶の日	ホットコーヒー アイスコーヒー カルピス クリームソーダ 甘酒 白玉ぜんざい チョコレートパフェ

月	行 事	実 施 献 立
3/3	ひな祭り 寿司の日	ちらし寿司 はまぐりのお吸い物 ごぼうの甘辛揚げ ポテトサラダ ひしもち型ゼリー ひなあられ
3/11	ラーメンの日	広東麺 餃子 ザーサイ 杏仁豆腐
3/12	ホワイトデー	女性のみパウンドケーキ
3/16	2・3月誕生会	赤飯 握り寿司 天ぷら 煮物 豚肉の棒棒鶏 明太チーズ玉子焼き すまし汁 抹茶デザート
3/23	お彼岸	ぼたもち

考察

- ・毎月イベント食を実施し、食事を楽しんでもらえるようにした。
- ・季節感が出せるよう、旬の食材を多く取り入れた。
- ・あやめの里で採れた野菜を多く使用した。



1月 お楽しみデー(海鮮丼)



1月 新年会・誕生会



2月 節分



2月 選択食(ソース焼きそば)



2月 選択食(塩焼きそば)



3月 選択食(鮭かけ焼きそば)



3月 2,3月誕生会



3月 ひな祭り(寿司の日)



4月 お楽しみデー(サンドイッチ)



4月 ラーメンの日(ワンタン麺)



5月 選択食(リゾット)



5月 選択食(鮭粥)



5月 選択食(中華粥)



5月 創立記念日・誕生会



6月 お楽しみデー(串揚げ)



3月 ラーメンの日(塩ラーメン)



7月 6,7月誕生会



7月 選択食(うな丼)



7月 選択食(牛丼)



7月 選択食(天丼)



8月 お楽しみデー(寿司)



8月 納涼会(じゃがバター)



8月 納涼会(すいか)



8月 納涼会(ところてん)



8月 納涼会(焼きそば・たこ焼)



9月 敬老会・8,9月誕生会



9月 選択食(きのこクリーム)



9月 選択食(ミートソース)



9月 選択食(明太子)



10月 お楽しみデー(中華)



10月 ラーメンの日(醤油ラーメン)



11月 お楽しみデー(握り寿司)



11月 ラーメンの日(塩ラーメン)



12月 クリスマス会



12月 餅つき(つけこ・豆餅)

栄養摂取一覧表

令和2年度

月	エネルギー Kcal	蛋白質 g	動物蛋白 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA ug	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	塩分 g
R2.4	1,484	55.5	25.7	32.2	389	7.5	491	0.80	0.76	103	7.7
5	1,515	56.2	26.0	32.5	391	8.1	526	0.76	0.80	100	7.7
6	1,475	54.7	24.6	32.1	400	7.8	494	0.82	0.77	91	7.7
7	1,487	55.2	26.0	32.2	362	7.5	528	0.73	0.76	91	7.6
8	1,489	54.5	25.3	32.7	376	7.3	521	0.77	0.75	90	7.6
9	1,483	56.2	26.9	32.6	398	7.7	486	0.76	0.79	91	7.7
10	1,475	54.9	25.9	32.3	370	7.8	685	0.79	0.80	97	7.8
11	1,471	54.1	25.9	33.3	381	7.9	650	0.74	0.79	100	7.6
12	1,490	56.9	26.6	33.5	409	7.9	550	0.83	0.78	97	7.7
R3.1	1,468	57.3	28.1	30.8	403	7.9	747	0.78	0.86	97	7.6
2	1,527	57.3	27.7	36.5	393	8.3	536	0.79	0.82	101	7.6
3	1,552	57.8	27.8	36.4	393	8.0	523	0.83	0.89	98	7.5
合計	17,916	670.6	316.5	397.1	4,665	93.7	6,737	9.40	9.57	1,156	92
平均	1,493	55.9	26.4	33.1	389	7.8	561	0.78	0.80	96	8
※1当施設 基準値	1,313	49.0	22.0	36.0	561	6.2	573	0.90	0.90	100	10未満
充足率 %	114	114	120	92	69	126	98	87	89	96	92

※数値は各月の1日当たりの平均摂取量です。

※1 年齢・身長・体重・身体活動レベルによって割り出された値です。

栄養比率（ ）は基準値

穀類エネルギー比 53.7% (60%以下)

蛋白質エネルギー比 15.0% (12~15%)

動物性蛋白質比 47.2% (40~50%)

脂質エネルギー比 20.0% (20~25%)

評価・考察

栄養素比率では、全て基準値内であった。栄養素の補充率では、特にカルシウムの不足とビタミンの不足が見られるので、来年度は摂取量を増やすように努める。ビタミンの不足は肉類・野菜や果物類から、カルシウムはCaふりかけを使用する、乳製品を積極的に取り入れるなどして改善していく。

令和2年度 嗜好調査実施結果報告

令和3年3月5日

実施日：令和3年2月

回答者数：48名

①今の食事には満足されていますか？

満足	33名
普通・なんともいえない	8名
不満足	7名

満足の意見

- ・いつも美味しい。
- ・あまり残さない。
- ・病院より美味しい。
- ・現場の人が努力しているのがよく分かる。

不満足の意見

- ・偏りがある、バラエティーに富んでほしい。茶色が多い。
- ・味付けにバラつきがある。
- ・好き嫌が多い。

②朝昼夕の食事について

●食事の量はどうか？

丁度良い	37名
多い	6名
少ない	3名

- ・まちまち。
- ・よくない時がたまにある。

●味の濃さはどうか？

丁度良い	37名
濃い	4名
薄い	2名

- ・味のないものがあるときがある。

- ・濃さは日によって違う。
- ・汁ものが濃いように感じる時がある。

③好きな献立は何ですか？

- ・肉 11名
- ・焼き魚 7名
- ・野菜全般 6名
- ・天ぷら 4名
- ・炊き込みご飯 3名
- ・納豆 2名
- ・そば 2名
- ・雑炊の時についてくるもの全般 1名
- ・巻き寿司 1名
- ・さばの味噌煮 1名
- ・人参しりしり 1名
- ・酢の物 1名
- ・ほうとう 1名
- ・果物 1名
- ・かぼちの旨煮 1名
- ・刺身 10名
- ・麺 7名
- ・握り寿司 6名
- ・うどん 3名
- ・なんでも 3名
- ・煮物 2名
- ・いなり寿司 1名
- ・うなぎ 1名
- ・肉じゃが 1名
- ・茹で野菜 1名
- ・カツ丼 1名
- ・ハンバーグ 1名
- ・がり（魚についている） 1名
- ・鮭 1名

④入れ歯および歯の状態について

●入れ歯はありますか？

あり 25名

なし 23名

●歯の状態はどうですか？

問題なし 34名

まあまあ 6名

問題あり 8名

- ・固いものは苦手、嚙めない 6名
- ・たまに入れ歯が痛い 1名
- ・銀歯があるため木のスプーンでないとだめ 1名
- ・すじっぼいものはだめ 1名
- ・虫歯が痛い 1名
- ・なるべくやわらかい方がいい 1名

- ・あまり歯が合っていない 1名
- ・歯医者がよくない 1名
- ・口があまり開かないため治療もできない。入れ歯の型もとれない 1名
- ・3本だけど噛める 1名

⑤ラーメンの日・選択食・お楽しみデー・喫茶をしてきましたがどうですか？

(周知・献立内容・特別感があるか)

知っている 44名

知らない 4名

- ・おいしい、楽しみです
- ・継続してほしい
- ・色々工夫してもらってありがたい
- ・今だからこそいいと思う
- ・バレンタインメニューのときのパン、切れ込みを入れてほしい
- ・おそばの選択食、てんぷらの選択食をやってほしい

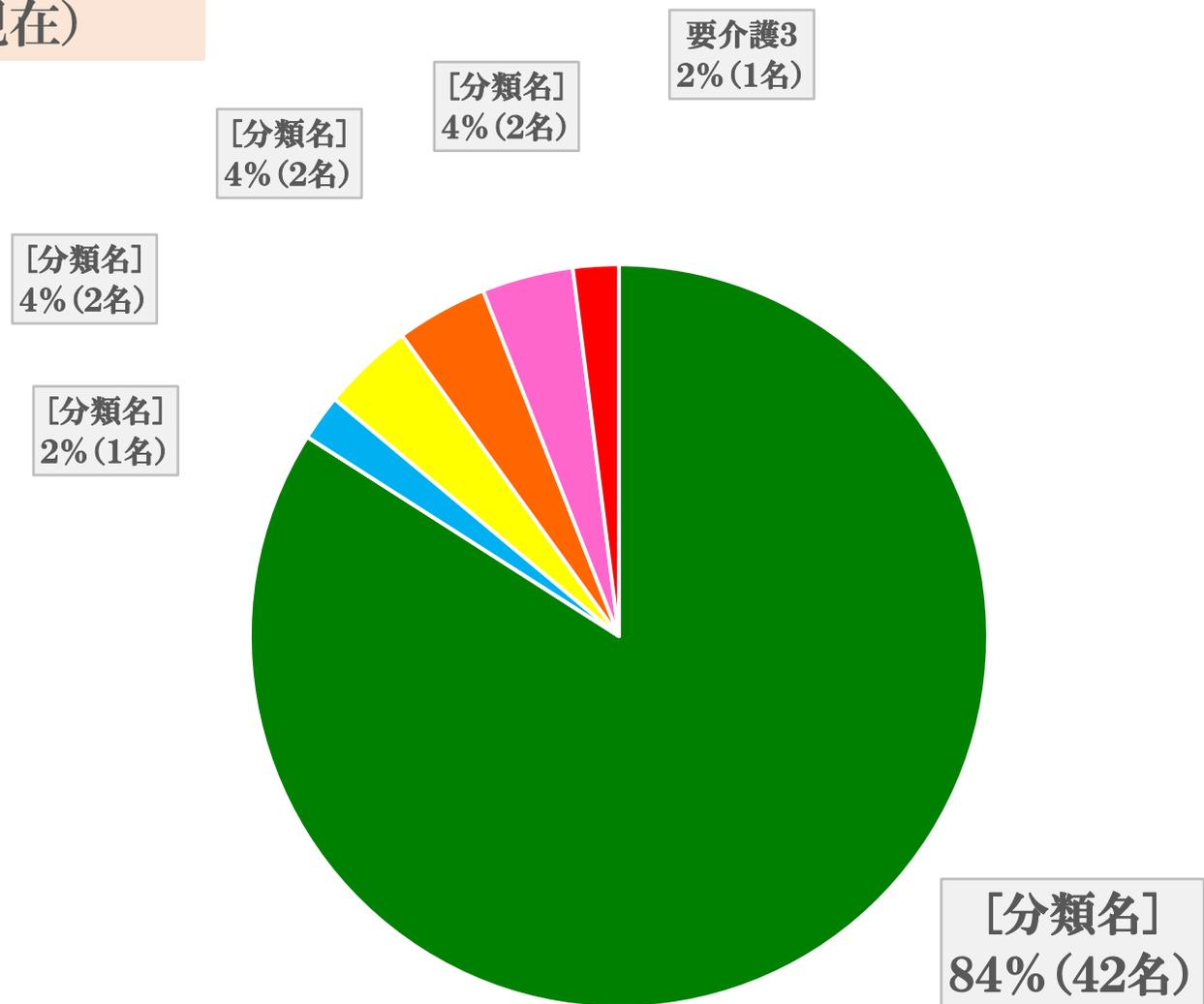
⑥その他、意見等

- ・呼ばれるのが最後のほうだからごはんが冷たい
- ・おかずの温度が温かければもっといい
- ・そばのどんぶりが冷たい
- ・ごはんが冷たいのでお茶をかけて食べている
- ・汁が熱すぎて飲めない
- ・もうすこし魚をふやしてほしい
- ・もうすこし肉をふやしてほしい
- ・サラダをふやしてほしい
- ・魚の付け合わせがさびしい
- ・お浸しが甘い、シンプルに醤油がいい
- ・どんぶりのときのご飯ほぐしてほしい
- ・パンはトーストしてくれたほうがいい
- ・麺類の日は麺の量をふやしてほしい
- ・握り寿司のごはんは小さめでお願いします
- ・甘いものが好きだから食べたい
- ・もっと海鮮物、生ものをふやしてほしい
- ・朝に魚がおおい、飽きてきた
- ・れんこんが食べづらい

- ・味がついたごはんは好きじゃない
- ・鯖あまりおいしくない
- ・感謝しかない
- ・味噌汁がおいしいです
- ・満足です
- ・いつもおいしくいただいています
- ・好き嫌いが多く申し訳ない、厨房のみなさんごめんなさい

アンケート結果から、今の食事に満足している人が多く、量や味付けの意見に偏りもなかったのが基本的に現状を維持していきたいと思います。今回はコロナの影響で班ごとに呼ぶことになってから初めての嗜好調査だったのですが、最後のほうに呼ばれる班の方々からご飯が冷たいという声が多くあがりました。これについては改善方法を考えていきたいと思います。イベント食については昨年より周知度が上がり、楽しんでもらえている声を多く聞けたので、来年度も工夫しながら継続していきたいと思います。

令和2年度 介護認定度グラフ (令和3年3月31日現在)



令和2年度 主な年間行事記録

日付		行事
4月	21	よもぎ摘み (コロナウィルス感染症拡大防止のため 中止)
5月	8	梅もぎ <入所者：4名>
	12	創立記念日・4月,5月誕生会 (コロナウィルス感染症拡大防止のため 中止)
	26	施設内消毒 <入所者全員>
6月		山梨県シルバー作品展見学 (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
	13	第8回文化祭 (コロナウィルス感染症拡大防止のため延期)
7月	21	6月,7月誕生会 (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
8月	27	地域ふれあい納涼会 (コロナウィルス感染拡大防止のため、入所者のみ)
9月	16	第1部：敬老会(園児慰問) (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
		第2部：敬老会・8月,9月誕生会 <入所者全員>
	28	ねんりんピック (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
10月	22	秋まつり⇒秋を楽しむ会 <入所者全員>
	24	小旅行 (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
11月	26	第8回文化祭 <入所者全員>
12月	22	クリスマス会・忘年会・10月,11月,12月誕生会 <入所者全員>
1月	7	団子作り<入所者：4名> どんど焼き (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
	19	新年会・1月誕生会 <入所者全員>
2月	3	節分豆まき <入所者全員>
		峡中地区高齢者作品展見学 (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止)
	25	ふれあいの会 (コロナウィルス感染拡大防止のため 中止 ：プレゼント交換のみ)
3月	16	2月,3月誕生会 <入所者全員> ※ボランティア感謝会 (コロナウィルスのため 中止)

◎令和2年度 入所・退所者数

	入所者数	内訳	入所前			退所者数	内訳	退所後		
			自宅	病院	他施設			他施設	病院	自宅
男	3	内訳	2	1	0	1	内訳	0	1	0
女	6		5	0	1	8		3	3	2
合計	9					9				

◎令和2年度 職員構成と配置

職 種		配置基準	採用	退職
常勤	施設長	1	0	0
	事務員	2	0	0
	生活相談員	1	0	0
	看護職員	1	0	0
	主任介護職員	1	0	0
	介護職員	3	1	0
	栄養士	1	0	0
	調理員	当該施設の実情に応じた数	0	1

その他の職員

嘱託	宿直専門職員	3人(女性)
	環境整備	1人(男性)

●職員勤続年数●

令和3年3月31日現在

年数等 区分 氏名	年齢	現に勤務する施設の状況			あやめの里職員 平均勤続年数 年 月	その他の 社会福祉施設に おける勤続年数 年 月	備 考
		職員数 人	職 種	勤続年数			
女性	65	/	施設長	1年		30年	
女性	47		事務員	27年			
女性	47		事務員	17年		6年9ヶ月	
男性	50		生活相談員	11年			
女性	55		看護職員	6年		2年	
女性	41		介護職員	4年1ヶ月		8ヶ月	
女性	41		介護職員	1年8ヶ月			
女性	38		介護職員	1年4ヶ月			
女性	21		介護職員	1年			
女性	22		栄養士	2年			
女性	60		調理員	13年			
男性	47		調理員	12年		8年3ヶ月	
男性	50		調理員	7年		6ヶ月	
女性	25		調理員	1年11ヶ月			
計	43.50	14		106年	7年6ヶ月	48年2ヶ月	